

平成 30 年度 第 2 回 N S T 実地研修カリキュラム

研修生指導責任者	山野修平 NST 長
研修受入責任者	山野修平 NST 長
受入職種	看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士 作業療法士、歯科衛生士、栄養士
研修費用	25,920 円 (4,320/日×6 日) ※長崎大学病院栄養サポートチーム (NST) 実地研修生受入規程による。
受入人数	15 名 (院外)
研修日時	
受入日	集中講義 : 平成 31 年 2 月 4 日 (月) ~6 日 (水) 実習 : (いずれかの 2 日間) ① 平成 31 年 2 月 20 日 (水)、21 日 (木) ② 平成 31 年 2 月 27 日 (水)、28 日 (木) 症例発表 : 平成 31 年 3 月 19 日 (火)
研修時間	8 : 30 ~ 17 : 30 (うち休憩 1 時間) (症例発表 PM13 : 00~15 : 00 ※集合は 8 : 30)
研修場所	集中講義 : 多目的研修室 (奥) (中央診療棟 4 階) 実習 : 多目的研修室 (奥)、栄養管理室、病棟、その他 症例発表 : 多目的研修室 (奥) (中央診療棟 4 階)

研修時間の時間配分

講義	8 時間×3 日間=24 時間
実習	8 時間×2 日間=16 時間
症例報告	2 時間×1 日間=2 時間
合計	<u>42 時間</u>

集中講義の詳細

	内 容 (予定)	指導担当 (予定)	時間
オリエンテーション	チーム長挨拶 自己紹介 (院外・院内研修生) 長崎大学病院NSTについて <ul style="list-style-type: none"> ・組織 ・業務内容の説明 ・スタッフメンバー構成 ・NSTの流れ 	山野 NST 長 三浦栄養士	30 分
内科医師	NST内科医師の担当する業務について <ul style="list-style-type: none"> ・NSTの役割 ・NSTにおける栄養評価 ・栄養ケアプランの考え方 ・内科疾患と栄養管理について (症例) ・栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応 	世羅医師	90 分
	病態別栄養管理 (腎臓) について	北村 (峰) 医師	60 分
外科医師	PEG、静脈カテーテルの造設手技について PEG の管理について	日高医師 (腫瘍外科)	90 分
	小児の栄養管理	山根医師 (小児外科)	90 分
救命救急センター 医師	解剖生理・消化吸収・代謝・生化学まとめ	山野医師	60 分
	救命救急センターにおける栄養管理について	泉野医師	120 分
リハビリテーション部 医師	リハビリと栄養について	高畠医師	90 分
歯科医師	NST 歯科医師の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼・嚥下のメカニズムと評価 ・VE・VFについて ・摂食・嚥下リハビリテーションについて ・誤嚥性肺炎防止のための口腔ケア・嚥下リハ ・口腔外科とNST ・口腔疾患と栄養管理 	久松歯科医師	90 分

管理栄養士	NST管理栄養士の担当する業務について ・栄養管理業務とNST ・栄養管理計画書とNST ・経口食の種類と特徴 ・栄養療法に関する問題点・リスクの抽出 ・栄養管理についての患者・家族への説明・指導	栄養管理室 三浦栄養士	60分
	・栄養評価と適正な栄養量の決定	三浦栄養士	60分
	・経管栄養剤の種類と特徴	三浦栄養士	60分
	・InBody測定	三浦栄養士	60分
	在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導	栄養管理室 高島室長	60分
看護師	NST看護師の担当する業務について ・NSTにおける看護師の役割 ・栄養スクリーニングについて ・口腔ケアについて ・経腸・経静脈栄養ルート管理	濱口看護師	90分
	褥瘡ケア関連	田島師長	90分
	緩和ケア関連	池田師長	60分
薬剤師	NST薬剤師の担当する業務について ・NSTにおける薬剤師の役割 TPN無菌調製(経静脈輸液適正調剤法の取得) 経静脈栄養剤の配合変化と側管投与 簡易懸濁法の実施と有用性の理解	稲岡薬剤師	90分
	電解質輸液・静脈栄養法について 静脈栄養のプランニングとモニタリング (問題点・リスクの抽出、 合併症の予防・発症時の対応)	松永薬剤師	90分

※講義内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

実習の詳細

<見学>

- ・救命救急センター、ICUの見学
- ・薬剤部(薬剤調製)の見学
- ・簡易懸濁法の実技

<カンファランス>

- ・NSTカンファランスに参加する。

<回診>

- ・NST回診に同行する。

<アセスメント実習>

- ・栄養評価の方法を学習し、身体計測を含むアセスメントの実際を実習する。

<症例実習>

- ・NSTへ紹介された症例のアセスメント、栄養管理等の流れを実習する。

<症例報告>

- ・担当したNST症例の経過をまとめ、症例報告する。

参考図書

日本静脈経腸栄養学会静脈経腸栄養ハンドブック (南江堂)